

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 重症心身障がい児放課後等デイサービスきらら

公表日 2025/1/20

利用児童数 年月日

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	5				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	7			こども過ごしやすい環境だと思う。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	6				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	2				
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	7				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	5				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	5				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	6				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	6				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	6		4		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	4				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	5				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	10			動画や写真を送ってくれる時があるので、様子が分かってありがたい。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	5				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	4				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	7	4		保護者会が無い	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1			帰宅時間を調整してくれて助かっている	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	8				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	8				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	8				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	6				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	2				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				子の機嫌が悪い日でも、穏やかに落ち着く様に対応してもらい感謝している	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症心身障がい児放課後等デイサービスきらら		
○保護者評価実施期間	2024年12月 25日		～ 2025年1 月16 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年1月10日		～ 2025年1 月21 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1 月23 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療ケアを必要としている利用者を主に対象としており、マンツーマンに近い体制で、一人ひとりの利用者を支援している。	利用者の支援方法で困っていることや困難に感じていることを共有している。意見を出し合い、解決方法や支援方法についてアイデアを出し合っている。	職員が個別支援計画に沿った支援を行っていけるように、支援方法の統一をしていく。利用者の状況や課題について、職員が共通理解を持つようスキルアップを図っていく。
2	福祉車両による安全な送迎を行っている。	車椅子に乗ったまま乗車できるよう、福祉車両による送迎を行っているため、保護者が安心して就労できるような支援を行っている。	安全計画に沿って運行し、安心してご利用頂けるよう、職員の研修を定期的に行っていく。外部の研修や公開講座に出席する機会を持つ。
3	専門性の高い職種の職員が在籍し、利用者を支援していける体制が整っている。	看護師が常時在籍しているので、痰の吸引や鼻腔・胃ろうからの注入等の医療ケアも可能である。	高い経験知と細心の配慮を持ち、安心して過ごせる場所であり続けるために、職員がスキルアップしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が無い。きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が無く、きょうだいへの支援がされていない。	就労している保護者も多く、多くの利用者が集まれる日時を確保するのが難しい状況である。	オンライン座談会の開催も視野に入れ、保護者の要望を聞き取りした上で、開催していく。利用者の卒業後の進路やケアについて等、保護者が悩みを相談できるようにしていく。
2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定しているが、保護者に周知されていない。	利用者の利用頻度が異なる中で、全ての利用者に、災害時訓練等の取り組みや、非常時対応について周知する工夫が不足している。	事業所で、いつでも閲覧できる状態にしているが、保護者への丁寧な説明と、災害訓練についての取組みを発信していく。地域社会との連携も含めて、災害対策を定期的に見直し、その内容を周知していく。
3	事業所の活動プログラムが固定化されてしまっている。	外部との交流や、外出イベントを増やしたいが、利用者のトイレ介助やケアのスペース等の問題があり、なかなか実施できていない。	職員が意見を出し合い、プログラムが固定化しないよう工夫していく。今年度は他施設との交流も予定しており、外出プログラムや、5領域支援に沿った支援を行っていく。